

平成27年 漁業産出額（沖縄県）

－ 漁業産出額は195億円、前年に比べ4.1%増加 －

【統計結果の概要】

- 平成27年の漁業産出額は195億円で、前年に比べ4.1%増加した。
 これは、海面養殖業で17.0%減少したものの、海面漁業で20.5%増加したことによる。
- 海面漁業の産出額は127億円で、前年に比べ20.5%増加した。
 これは、まぐろ類のびんなが、きはだ、いか類等が増加したことによる。
- 海面養殖業の産出額は68億円で、前年に比べ17.0%減少した。
 これは、くるまえび、もずく類等が減少したことによる。

図1 漁業産出額の割合（沖縄県）

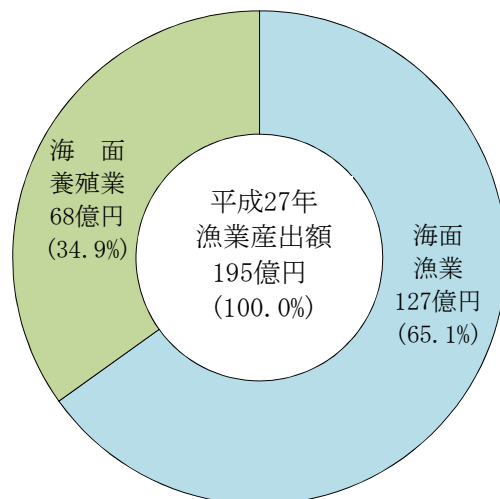


表1 漁業産出額

区分	平成26年	平成27年	対前年差	対前年増減率
	100万円	100万円	100万円	%
沖縄計	18,691	19,460	769	4.1
海面漁業	10,515	12,670	2,155	20.5
海面養殖業	8,177	6,790	△ 1,387	△ 17.0
内水面漁業	…	…	…	…
内水面養殖業	…	…	…	…

注：表示単位未満を四捨五入したため、合計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ。）
 内水面漁業・養殖業は、都道府県別に取りまとめは行っていない。

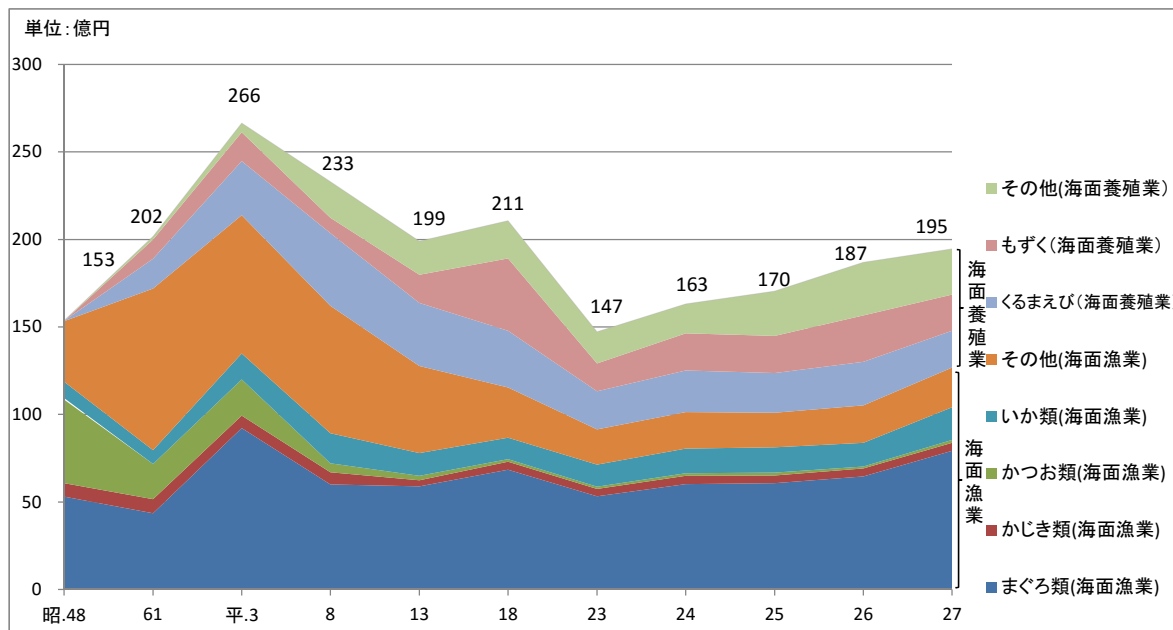
- この統計調査の結果は、沖縄総合事務局ホームページの「農林水産部」で御覧いただけます。
[【http://www.ogb.go.jp/nousui/toukei/006787.html】](http://www.ogb.go.jp/nousui/toukei/006787.html)
- この統計調査の全国結果は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
[【http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do】](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do)

【参考】

○ 漁業産出額の推移（昭和48年以降）

漁業産出額は、平成3年（266億円）をピークにその後減少を続けてきたが、平成23年から増加に転じている。

図2 漁業産出額の推移



注：統計調査は毎年実施しているが、見やすさの観点から、平成23年以前のグラフは基本的に5年ごととしている。

表2 漁業産出額の推移

単位：百万円

区分	昭.48	61	平.3	8	13	18	23	24	25	26	27
漁業産出額	15,267	20,172	26,648	23,312	19,905	21,077	14,715	16,306	17,046	18,691	19,460
海面漁業	15,234	17,190	21,382	16,199	12,762	11,534	9,140	10,139	10,093	10,515	12,670
まぐろ類	5,302	4,351	9,225	6,006	5,883	6,847	5,328	6,007	6,069	6,457	7,914
かじき類	775	809	703	692	351	456	412	490	444	451	463
かつお類	4,765	2,004	2,072	514	261	137	133	149	165	113	162
いか類	924	792	1,472	1,717	1,291	1,225	1,266	1,403	1,446	1,352	1,863
その他	3,468	9,234	7,910	7,270	4,976	2,869	2,001	2,090	1,969	2,142	2,268
海面養殖業	33	2,982	5,266	7,113	7,143	9,543	5,575	6,167	6,953	8,177	6,790
くるとまえび	7	1,713	3,083	4,158	3,605	3,243	2,188	2,366	2,271	2,491	2,103
もずく	…	1,091	1,658	882	1,621	4,131	1,580	2,134	2,116	2,645	2,080
その他	26	178	525	2,073	1,917	2,169	1,807	1,667	2,566	3,041	2,607

資料：農林水産省統計部「漁業産出額」

注：その他(海面漁業)：むろあじ類、ぶり類、たい類、さわら類、えび類、かに類、貝類、たこ類、うに類、海藻類(天然もずく等)等

その他(海面養殖業)：まだい、くるとまぐろ、やいととはた、すぎ、たまん等

「…」は、調査を行っていない。

統計表

海面漁業及び海面養殖業産出額

魚 種	平成26年	27	対前年増減率
	100万円	100万円	%
漁業産出額計	18,691	19,460	4.1
海面漁業計	10,515	12,670	20.5
魚類計	8,609	10,099	17.3
まぐろ類計	6,457	7,914	22.6
くろまぐろ	132	118	△ 10.6
びんなが	1,004	1,439	43.3
めばち	3,578	3,332	△ 6.9
きはだ	1,411	2,606	84.7
その他のまぐろ類	332	419	26.2
かじき類計	451	463	2.7
まかじき	33	39	18.2
めかじき	174	175	0.6
くろかじき	234	240	2.6
その他のかじき類	10	10	0.0
かつお類計	113	162	43.4
かつお	112	160	42.9
そうだかつお類	2	2	0.0
さめ	9	8	△ 11.1
むろあじ類	7	13	85.7
ぶり類	11	10	△ 9.1
たちうお	12	15	25.0
たい類計	12	10	△ 16.7
ちだい・きだい	7	6	△ 14.3
くろだい・へだい	4	3	△ 25.0
さわら類	21	21	0.0
1)その他の魚類	1,517	1,483	△ 2.2
えび類計	111	135	21.6
いせえび	73	98	34.2
その他えび類	38	38	0.0
かに類計	22	26	18.2
がざみ	16	19	18.8
その他のかに類	6	8	33.3
貝類	160	301	88.1
2)いか類	1,352	1,863	37.8
たこ類	121	x	-
うに類	6	1	△ 83.3
海産ほ乳類	10	x	-
その他の水産動物類	14	6	△ 57.1
3)海藻類	111	107	△ 3.6
海面養殖業計	8,177	6,790	△ 17.0
魚類計	1,558	1,441	△ 7.5
まだい	x	x	-
くろまぐろ	x	x	-
4)その他の魚類	122	87	△ 28.7
貝類	x	x	-
くるまえび	2,491	2,103	△ 15.6
海藻類計	3,923	3,048	△ 22.3
のり類	68	50	△ 26.5
もずく類	2,645	2,080	△ 21.4
5)その他の海藻類	1,211	918	△ 24.2
真珠	x	x	-
種苗	x	x	-

注： ・海面漁業

- 1) その他の魚類・・・まち類、いわし類、たかさご類、ぶだい類等
- 2) いか類・・・甲いか、白いか、そでいか等
- 3) 海藻類・・・天然もずく、ひじき等

・海面養殖業

- 4) その他の魚類・・・まだい、くろまぐろ、やいとはた、すぎ、たまん
- 5) その他の海藻類・・・くびれづた（海ぶどう）

・「x」は、秘密保護上統計数値を公表しないもの

【 統計の概要 】

1 統計の目的

漁業生産活動の実態を金額で推計し、水産行政の推進等のための資料を整備することを目的としている。

2 推計期間

本統計の推計期間は、平成27年1月から12月までの1年間である。

3 推計方法

(1) 海面漁業・養殖業産出額

海面漁業生産統計調査結果から得られる魚種別生産量に、関係団体等から得られる魚種別価格を乗じて推計した。

$$\text{漁業産出額} = \text{魚種別生産量} \times \text{魚種別価格}$$

(2) 内水面養殖業産出額

内水面漁業生産統計調査結果から得られる魚種別収獲量に関係団体等から得られる魚種別価格を乗じて推計した。

$$\text{産出額} = \text{魚種別収獲量} \times \text{魚種別価格}$$

4 用語の解説

(1) 漁業産出額とは、海面漁業、海面養殖業、内水面漁業及び内水面養殖業の産出額を合計したものである。

(2) 海面漁業とは、海面において水産動植物を採捕する事業をいう。

(3) 海面養殖業とは、海面又は陸上部に設けられた施設において、海水を使用して水産動植物を集約的に育成し、収獲する事業をいう。

(4) 内水面漁業とは、公共の河川、湖沼において水産動植物を採捕する事業をいう。

内水面養殖業とは、一定区画の河川、湖沼又は陸上において、淡水を使用して水産動植物（種苗を含む）を集約的に育成し、収獲する事業をいう。

お問い合わせ先
内閣府 沖縄総合事務局
農林水産部 統計調査課
TEL:098-866-1671
担当：仲村、親川